



## 不平等は問題か？

### 人々は日本における経済格差と社会移動をどう捉えているか

OECD ウェルビーイング・包摂性・持続可能性・機会均等 (WISE) センター  
労働政策研究・研修機構 (JILPT) 主催ハイレベル・ラウンドテーブル

ハイブリッド形式 (登壇者と一部参加者のみ対面・一般はオンライン参加)

開催日：2022年12月8日 (木)

時間：日本時間 16:00~18:00、パリ時間 8:00~10:00

場所：ベルサール虎ノ門 (東京都港区虎ノ門 2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー2F)  
([https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/roppongi/bs\\_toranomon](https://www.bellesalle.co.jp/shisetsu/roppongi/bs_toranomon))

オンライン参加申込：<https://bit.ly/3zkh5P>

OECD の報告書 *Does Inequality Matter?* は、人々が不平等について何を考え、その考えが再分配政策に対する需要をどのように形成しているのかに関し、詳細なクロスカントリー分析を行っています。

本イベントでは、「*Does Inequality Matter?*」の調査結果を発表し、日本における不平等の認識、定義、経験について議論を深める機会を提供するとともに、OECD Income and Wealth Distribution Databases による所得と富の不平等に関する最新のデータおよび JILPT の研究をもとに議論を行う予定です。

研究報告の後のパネルディスカッションでは、政策立案者、民間企業、労働組合、市民社会などの代表がパネリストとして登壇し、日本社会のさまざまな分野からの意見を持ち寄り、次のような点に焦点を当てて議論します。

1. 日本の人々が主に関心を寄せる不平等の側面や様相はどういうもので、他の国と比較してどうなっているのか
2. 格差が広がると、日本社会はどのようなリスクを抱えることになるのか
3. 不平等に取り組むための (再) 分配について、どのような手段を考えるべきか

## イベント概要

16:00	開会挨拶 武内良樹 OECD事務次長
16:10	「 <i>Does Inequality Matter?</i> 」報告書のプレゼンテーション ロミーナ・ボアリーニ OECD WISEセンター長
16:20	日本の格差についてのプレゼンテーション 高見具広 労働政策研究・研修機構 主任 研究員

共催



独立行政法人 労働政策研究・研修機構  
The Japan Institute for Labour Policy and Training

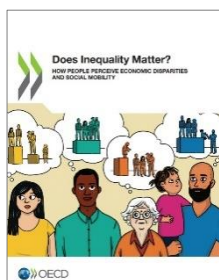
協力



FONDATION  
FRANCE-JAPON  
DE L'EHESS

16:30	ディスカッション セバスチャン・ルシュバリエ フランス国立社会科学高等研究院教授、日仏財団理事長
16:40	ラウンドテーブル・ディスカッション 登壇者： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 中空麻奈 経済財政諮問会議議員／BNPパリバ・ジャパン株式会社グローバルマーケット統括本部副会長</li> <li>● 井上久美枝 日本労働組合総連合会（連合）総合政策推進局長</li> <li>● 井上隆 日本経済団体連合会（経団連）専務理事</li> <li>● 白波瀬佐和子 東京大学教授／国連大学上級副学長</li> <li>● 室橋祐貴 一般社団法人日本若者協議会代表理事</li> </ul> モデレーター： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 上田奈生子 OECD東京センター所長</li> </ul>
17:50	総括と閉会の辞 樋口美雄 労働政策研究・研修機構理事長
18:00	イベント終了

## OECD の報告書 *Does Inequality Matter?*



新型コロナウイルス（COVID-19）危機からの強力かつ包括的な回復を確保し、生活コストの上昇と地政学的緊張による迫り来る課題に対処するには、現存する不平等に取り組み、将来の繁栄と社会的結束の基盤として機会均等を促進する政策と改革が必要です。しかし、この目的を達成するために必要な、大規模かつ野心的な改革パッケージは、一般の人々からの広範なサポートなしに効果的に実行することはできません。人々の支持を得るために必要な要素をより良く理解するために、OECD の報告書 *Does Inequality Matter?* は、人々が不平等について何を考え、その考えが再分配政策に対する需要をどのように形成しているのかに関し、詳細なクロスカントリー分析を行っています。

*Does Inequality Matter?* は、OECD が 15 年近くにわたって、広範な統計と政策分析を通じて不平等の範囲、進展、原因、そして結果を記録してきた画期的な出版シリーズの最新版です。新報告書では、これまでの分析を拡大し、人々は不平等を気にかけるのか、不平等に関する人々の認識と現実の乖離、各国国内の世論はどのように割れているのかなど、経済格差や社会移動に対する市民の受け止め方に焦点を当てて分析しています。

*Does Inequality Matter* レポートの詳細については、以下のリンクからご覧いただけます：

<https://www.oecd.org/social/does-inequality-matter-3023ed40-en.htm>

OECD WISE センターとその活動に関する詳細情報は、以下のリンクからご覧いただけます：

<https://www.oecd.org/wise>